

2015年度 初級知財実務セミナー

# 実例で理解するはじめての特許活動 (I)

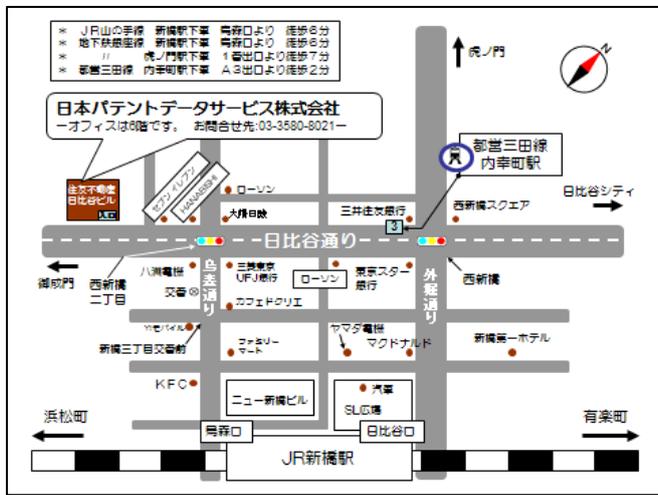
企業の特許業務で必要になる特許法等の基礎知識  
実際の業務での関わりをわかりやすく解説

A  
011

入門 ← レベル → 上級

自社のために何をすれば良いのかを独自に判断(活動)するための基本的な特許知識を解説します。本講座では、研究・開発・生産・販売等の業務の流れの中で、どのような特許実務が必要になるかをチェックしながら、特許実務上で必要になってくる特許法等とのかかわりを理解し、特許実務に合わせて、特許法等の基礎知識を理解することにあります。

これから新たに知的財産関係の実務を始める方、実務をおこなっているが今一つ実務面での特許法等とのかかわりが理解し難いとお悩みに方へお勧めする基礎実務講座です。



**講師：**船木 隆英  
日本パテントデータサービス(株) 顧問  
元 キヤノン(株) 知財研修室 室長

**場所：**日本パテントデータサービス(株) セミナ室  
東京都港区西新橋2-8-6  
住友不動産日比谷ビル6F  
TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

**時間：**1日間コース (午前10:00～午後4:00)  
**受講料：**16,000円 (税別)  
**定員：**24名 (先着順申し込み)  
**日程：**6月2日(火)、2016年1月21日(木)

【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpbs.co.jp (受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)  
【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「実例で理解するはじめての特許活動 (I)」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名	
住所	〒				
TEL				FAX	
参加希望日:	<input type="checkbox"/> 6月2日 <input type="checkbox"/> 2016年1月21日				
受講者氏名		所属		特許経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail				弁理士番号	
受講者氏名		所属		特許経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail				弁理士番号	
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引コード: )				
備考:					

## セミナースケジュール（実例で理解するはじめての特許活動（I））

午前 10 : 00	講師ご紹介
10 : 05	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業活動と知的財産権 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業における知的財産活動</li> <li>・企業における知的財産権の役割</li> <li>・企業での知的財産権の活用</li> </ul> </li> <li>2. 知的財産権 <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産権と産業財産権</li> <li>・産業財産権の種類（特許、実用、意匠、商標）</li> </ul> </li> <li>3. 特許実務上で必要になる特許基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許制度の目的</li> <li>・特許法で保護される発明（公開された発明の保護は？：事例問題）</li> <li>・新規性、進歩性（進歩性はあるか？：判断事例問題）</li> </ul> </li> </ol>
11 : 45	昼休憩
12 : 45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先願主義</li> <li>・出願公開制度</li> <li>・国内優先権制度（メリット・デメリット）</li> <li>・出願分割（複数の発明の保護？：事例問題）</li> </ul>
14 : 45	休憩
15 : 00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許権侵害（侵害となる場合の判断は？事例問題）</li> <li>・審判制度（拒絶査定不服審判・特許無効審判・訂正審判）</li> <li>・特許明細書の見方 （発明の完成・実施可能性・発明の詳細な説明と特許請求の範囲）</li> </ul>
15 : 50	質疑・応答
16 : 00	終了

### 【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。